

LDH test NAGATA は、唾液中に含まれる乳酸脱水素酵素 (LDH) の活性を測定するための試験紙です。

【使用方法】

1 唾液を一滴 (約 0.1 ml) 以上採取します (目標 0.5 ml)。

2 すぐに使用する量のみ取り出し袋のチャックを閉じます。

3 閉じた状態の試験紙を開き発色部を出します。

4 発色部を唾液に浸します。

5 唾液から引き上げ、60 秒の計測を開始します。

6 正確に 60 秒間待ちます。

7 60 秒後の色調を比色表と比較します。

LDH は細胞の中にあり、歯周病など、口の粘膜に炎症が起こると唾液の中に出てきます。一般に歯肉の炎症が重症であるほど比色表の数値が大きくなり、歯肉炎の可能性があるので、歯周病の保健指導に有用です。

本製品は体外診断用医薬品ではありませんので、歯周病を判定するものではありません。一般に比色表の数値が 1～3 では歯肉にほとんど炎症が見られない可能性が高く、6 以上では歯肉に炎症がある可能性が高いという目安になります。歯肉に炎症がなくても口内炎や口の中の粘膜に傷などがある場合は比色表の数値が高くなる場合があります。

【留意事項】

- 窓際など明るすぎる場所は避け、普通の明るさ (600 ルクス程度) の室内で使用ください。
- 20℃～30℃の室温で使用ください (25℃～30℃推奨)。試験紙が冷たい時は常温に戻してから使用ください。
- 発色部は唾液に充分浸してください。また、発色部を強く擦りつけたり、余分な唾液を紙等で除去したりすると、発色成分が取れて判定に誤差を生じることがあります。
- 60 秒以上放置すると、発色反応が進み、正しい結果を得られません。
- 測定の 30 分前から飲食はしないでください。
- ブラッシングをした場合、1 時間以上時間をおいて唾液を採取してください。
- 唾液は採取してすぐに使用してください。

【取り扱い上の注意】

- 本品は冷凍で保存してください。
- 発色部は光に敏感です。使用前までアルミ袋内で遮光状態を保ってください。
- 発色部を舐めたり、手で触れたりしないでください。
- 開封後は早めに使用ください。

【貯法】

冷凍保存 (有効期間 1 年)

【参考文献】

- Validity of a new kit measuring salivary lactate dehydrogenase level for screening gingivitis. Dis Markers. 2017, 9547956, 2017.
- The level of salivary lactate dehydrogenase as an indicator of the association between gingivitis and related factors in Japanese university students. J. Oral Sci. 61, 133-139, 2019.
- 3-2 歯周病リスク判定試験紙を取り入れた効率的な歯科健診による受診者数増加の試み. 65-75 頁. 職域等で活用するための歯科口腔保健推進の手引き. 8020 推進財団, 2021.
- Association between participation in the short version of a workplace oral health promotion program and medical and dental care expenditures in Japanese workers: a longitudinal study. Int. J. Environ. Res. Public Health. 19, 3143, 2022.
- Estimation of periodontal inflamed surface area by salivary lactate dehydrogenase level using a test kit. J. Clin. Med. 13, 5904, 2024.

長田産業株式会社

〒671-2544 兵庫県宍粟市山崎町千本屋 215

TEL 0790-62-1177・FAX 0790-62-1219